

「全国美術館所蔵目録の目録（仮称）」
活動計画（案）

1. 概要

全国美術館会議会員館が発行する冊子体やオンラインの所蔵目録の情報を収集し、その総覧を全国美術館会議のホームページ上で公開する。全国の美術館学芸員等が国内の美術品を検索する際に役立つことが期待される。2 カ年計画で作成を目指す。

2. データ収集の基本方針

- ・ 全国美術館会議会員館を調査対象とする。全 362 件（2011 年 7 月現在）。
- ・ メイン・ターゲットは「展覧会準備の際に作品の所蔵情報を収集する学芸員」とする。
- ・ 当該館の所蔵品を網羅的に把握するには何を参照すればよいかという点を重視する。
- ・ コレクション全体を網羅する決定版の総合目録がない場合は、必要に応じて特別コレクション目録、名作選などで補う。
- ・ 過去に出版された全ての目録を追跡する必要はなく（目録の出版情報をまとめることは目的ではない）、利用者を最小限の文献で最大限の作品情報にアクセスできるようにすることを念頭に置く。
- ・ 累積的に作品情報が蓄積される館報については、作業量の軽減のため、今回は個々のケースについてはとくに言及しない（ほかにツールがない場合は例外）。
- ・ 紙・デジタルの媒体の別は問わない。

3. 調査項目

調査項目は下記の通りとする。（*）は必須項目。（2）～（16）までが公開範囲。
（美術館名、編著者、出版社が殆どのケースで同一。・・・要検討。）

- （1）機関 ID（*）
- （2）美術館名（*）
- （3）媒体の別（*）
- （4）タイトル（*）
- （5）シリーズ・タイトル
- （6）巻号
- （7）編著者（*）
- （8）出版地
- （9）出版者（*）
- （10）出版年（*）
- （11）識別子（ISBN または URI）

- (12) 備考（収録内容について補記）
- (13) 収録作品点数（序文や通し番号などにより簡単に分かる場合）
- (14) 図版有無（*）
- (15) 作家名索引有無（*）（索引、目次、作家解説などにより収録作家名を一覧できるもの）
- (16) ALC 所蔵有無（*）
- (17) NACSIS ID
- (18) 出典（ALC・ホームページなど、作業の途中で随時確認のため）

4. 実施計画

2012 年度は基礎調査（データ収集）を実施し、翌 2013 年度にウェブ公開に向けてのデータ修正、加工を行う。詳細は下記の通り（実施時期は目安）。

4.1 2012(平成 24)年度

- ・ **第一次調査** 2012 年 10 月-翌 2 月
 - 研究部会側で基礎データを作成
（部員＋アルバイト 16 人日程度）
 - 第 1 段階）ALC 横断検索・各館 HP 等によりデータ作成
 - 方法 1) 研究部会メンバーが基本データを作成、ALC 所蔵有無のみ
アルバイトが作業
 - 方法 2) アルバイトが基本データを作成、研究部会メンバーが確認
 - 第 2 段階）現物にあたり、作家名索引の有無を調査

- ・ **第二次調査** 2013 年 2 月-3 月
 - 調査票を作成・発送し、各館側に内容確認を依頼
（部員＋アルバイト 4 人日程度）

4.2 2013(平成 25)年度

- ・ 基礎データ修正 2013 年 4 月-5 月
- ・ ウェブ用に加工 2013 年 5 月-8 月
 - 2013 年 5 月末、総会にて見本画面を提示
- ・ 試行版公開 2013 年 9 月
- ・ 本版公開 2014 年 3 月

5. 見本データ

（別紙の通り）